２０２６年１１月７日

各出場チーム　ならびに　応援団　各位

(一社)日本実業団陸上競技連合
専務理事　酒井　勝充

クイーンズ駅伝 in 宮城　第 46 回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会

試走・下見や応援方法などの規制ルールについて

大会の応援・観戦に際しては、開催地の方たちに迷惑のかからぬよう、節度と規律ある対応が求められるのは言うまでもありません。各方面からご注意を受け、今般下記のルールを取り決めました。各チームは、応援者に周知徹底をお願いします。

記

コースの主要部分を占める国道４５号線は、大型車両の通行も多く、渋滞が予想され、警察からは交通規制を厳しく指導されています。道路事情や駐車場の確保等の困難さを考慮しますと、応援バス利用による移動・応援は非常に難しい状況です。その点を踏まえた応援計画をお願いします。

＜注意喚起事項＞

宮城県警察本部から、特に以下の２点について、注意喚起を求められています。

① ＪＲ陸前浜田駅のロータリー及び周辺道路に路上駐車する企業応援団の方がいるため、渋滞が発生し、地域住民から苦情が寄せられている。当駅周辺に限らず、路上駐車には注意いただきたい。

② 仙台市陸上競技場東側（JR 貨物ターミナル側）の道路に各企業のバスが路上駐車され、一般車両の往来に支障を来している。
各企業のバス用に割り振られているＪＲ跡地（仙台市陸上競技場南側）の駐車場を利用いただきたい。
ことしは大会当日の 22 日、翌日の「楽天ファン感謝祭」設営のための大型車両が頻繁に通行する予定のため、なおさら路上駐停車しての乗降は厳禁。

＜以下は主催者から＞

コース付近への車両の流入を抑制する観点から、主催者で出場チーム応援車両用の駐車スペース（フィニッシュ地点隣接のＪＲ跡地駐車場割り当て分を除き）・乗

降場は、今大会では、いっさい設けない。
交通規制がかかることで、コース近辺の住民や事業者の方たちに不自由をかけている事情への配慮が必要。大会当日は３連休の中日であり、とりわけスタート地点の松島海岸一帯には観光客の車両も大量に流入しており、駅伝応援の車両が原因で、さらなる渋滞等を招くことがあってはならない。
片道コースで、有名観光地や人口 100 万都市の幹線道路を使用し、う回路も含めて渋滞しやすい、クイーンズ駅伝のコース特有の事情を理解し、応援にはＪＲや仙台市地下鉄などの公共交通機関の活用を推奨。

約束ごとを順守できないと、公道の道路使用許可を得られなくなり、大会を開催できなくなる。規制ルールを厳守すること。

１．試走時の関連者へのあいさつの徹底

過去の大会前、また、他の駅伝大会の際、試走に関し、「断りもなく駐車された」「無断でトイレを使われた」などの苦情が寄せられた。

レース当日、中継所として借用する場所は、通常業務中。よって、施設の下見や、施設内に駐車する場合などは、**必ず一言「クイーンズ駅伝に参加します○○チームの○○です。よろしくお願いいたします」**などのあいさつを忘れずに。

現地の方々に不快感・疑念を持たれかねない言動は慎むこと。

コース下見などをする場合は、道路事情を把握し、くれぐれも通行車両や通行人に迷惑とならないよう注意すること。

また、第６区の第５中継所通過後の西公園付近交差点、定禅寺通りでは工事が行われており、この付近で試走や応援する際は十分注意すること。

試走・下見の際や、仙台入り後の練習にあたっては、クマの目撃・出没情報に十分注意すること。特に、早朝や夕方の練習の際には、細心の注意が必要。
（別紙のクマ関連情報サイト URL など参照）

２．弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）での事前練習について

主催者がフィニッシュ地点の弘進ゴムアスリートパーク仙台を借用するのは、11 月 19 日（木）から。練習用に利用可能な時間帯は、10 時～16 時。

なお、19 日（木）は 15 時ごろから、ゴールアーチのグラウンド内への移動作業があるため、一時的にフィニッシュライン付近の利用が制限されるので注意すること。21 日（土）も、昼頃までＴＢＳテレビの中継リハーサルがあり、一時的に利用が制限される場合がある。

18 日（水）以前に競技場での練習を希望する場合は、一般利用となる。利用申し込みは各チームで行い、料金を各自で支払うこと。

スタート地点の松島海岸周辺には、多くの観光客が訪れる。松島海岸周辺での試走には十分注意すること。

３．楽天イーグルスのファン感謝祭（11 月 23 日）について

※11 月 23 日（月・祝）に隣接する野球場で、プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスの「ファン感謝祭」が実施される。約２万 4000 人が来場する予定。

駅伝当日の 22 日（日）も野球場の外周部では、設営作業が実施される。例年、レース後、企業応援団の終礼・集会に野球場外周エリアを利用しているチームは、ことしは利用を避けること。別紙図面の通り、15 時以降、設営作業が実施される。一帯が混雑した状況下では、応援団の解散･移動には時間を要するため、15 時前であっても設営作業エリアの利用は避けること。

また、設営作業の大型車両が、JR 貨物ターミナル側から、運動公園敷地内を通行するため、応援団の集合・解散にあたっては、十分注意すること。

４．応援禁止区域

第１区の松島海岸駅の先、浪打浜公園を過ぎたあたりから陸前浜田駅手前「浜田トンネル」までは、応援禁止区域とする。

（理由は歩道がなかったり、あっても狭く、すぐ海に面し非常に危険なため）

※「クマ対策」のため、５区終盤と６区序盤の西公園、仙台国際センター周辺を応援・観戦自粛エリアとする。今後のクマ出没状況に応じて、応援・観戦自粛エリアを追加する場合がある。今後の注意喚起広報に注意すること。
宮城県や仙台市が出す「クマ目撃・出没情報」で最新の情報収集に努めること。

５．コース内に関する事項

（１） のぼり旗

１区間につき５本､合計３０本までとする。

（２） 横断幕 （長さ１０ｍ×幅１．２ｍ以内）

１区間につき１枚、合計６枚までとする。

（３） 掲示方法

① のぼり･横断幕等を１カ所に集中させること､並びに固定することを禁止する。

② スタート・フィニッシュ･中継所の前後１００ｍは掲示を一切禁止する。
なお、スタートエリアには、ＴＢＳテレビが出場企業ののぼりを各チーム１本

掲出する。
また、スタートアーチから先１００ｍまでのエリアは大混雑するため、１チーム当たりの企業応援者に５名までの人数制限を設ける。
**　のぼりを歩道からコース上に差し出すと選手の走行を妨げることになり、非常に危険なため、差し出しは厳禁。使用後は回収を徹底し持ち帰ること。**
応援団の集合場所を告知する社名入りの看板類が路上に放置されていた例がある。地域住民から苦情が寄せられることのないよう、注意すること。

※過去の他の駅伝大会で、テレビ映りを優先し、走行中の選手の視野には入らない箇所に横断幕を掲出するケースがあった。このような行為は応援の趣旨に反するため、掲出箇所には十分配慮すること。

（４）　ごみの持ち帰りを徹底。
※手旗・弁当・ペットボトル・空き缶・マスク・その他のごみ

（５）　**私有地に入っての応援は厳禁。**
※過去の大会で、庭の草木をダメにされたとの苦情が寄せられた例がある。

（６）　**市民・一般のファンへの配慮を。事前の場所取りは厳禁。**
※沿道には市民や一般の駅伝ファンも大勢集まる。とりわけ、小さなお子さんにとっては、その視界をふさぐ形で前方に大人がグループ単位で集まってしまうと、十分に観戦・応援することができなくなる。コース上の観戦ポイントを順次移動しながら応援する際は、先に来ていた市民・一般ファンの方たちに十分配慮すること。
観戦に適したポイントは誰しも、そこで観戦したいもの。レース前から場所取りをすることは厳禁。会社名を記した機材類で場所取りすることは、自社のブランドイメージを傷つけることにもなる（過去の大会で実際に苦情があった）。
場所取りが確認できた場合は、主催者の責任で、場所取りの機材類を撤去する。機材類はいったん大会本部（仙台サンプラザ）であずかるが、レース当日 18 時までに回収に来ない場合は、廃棄する。

※大きな音量が出る楽器類（太鼓など）を使った応援は、一般観客や他のチームの声援の妨げになるため、これらの楽器類は、コース沿道、仙台市陸上競技場内とも使用しないこと。楽器による大音量の音曲を騒音、ストレスと感じる人たちがいる。

※企業マスコット、チームマスコットなどの着ぐるみを使った応援は、以下の点に注意すること。応援の趣旨にそぐわない、企業ＰＲや商品・サービス宣伝色の強いデザインのものは禁止。
・コース沿道　大勢の観客・応援者が集まる箇所での着用は禁止。
着ぐるみの色彩に注意。クマを想起させる色は、誤った目撃情報につながり、大会の中止も招きかねないため厳禁。

・仙台市陸上競技場内　ほかの観客・応援者の視界を妨げることがないよう、立ち位置を配慮。傾斜のあるスタンド内での転倒事故を防ぐため、必ず介添え者がつき、安全に配慮すること。

※応援ツールに環境負荷の小さな素材のものを選んだり、フードロス削減を心がけたりするなど、サステナビリティーを意識した応援への配慮を

※出場チームの企業名が入ったスポーツタオルなど、応援用としては使用できても、スタート・フィニッシュエリアや中継所など、競技に出場する選手が出入りする「競技エリア」で選手用には使用できないデザインのものがあるので注意すること。
　世界陸連・日本陸連の「競技会における広告及び展示物に関する規程（いわゆる「広告規程」」で、競技エリアに持ち込めるグッズ類の製造者ロゴ、スポンサーロゴ等は、大きさが規定されているので、応援を兼ねたチームスタッフが、競技エリアに立ち入る際など十分に留意すること。

６．競技場使用に関する事項

※仙台市陸上競技場の大規模改修工事が未了のため、メインスタンド観客席の約４分の１が使用できない。詳細は各チームに別途、お知らせする。
例年、大会当日の場所取りが自由競争だったバックスタンド、ゴール裏のサイドスタンドは、各チームに事前にお知らせしてある通り、上記の理由で、今大会に限り、主催者でエリアを割り振る。

（１）横断幕・のぼり旗の設置について

① **バックスタンド（ゴール裏エリア含む）への事前設置は**
11 月 21 日（土）午前 11 時～午後２時の間とする。
※競技場の安全管理上、設定時間外の設置はできない。
競技場バックスタンドへは、第３ゲートのみから入場すること。
機材類を搬入するために開けていた第１ゲートや第４ゲートから入場した企業があったが、第３ゲート以外からの入場は厳禁。入場不可のゲートから入場して、けが等を負っても主催者は一切責任を負わない。

② **大会当日、メインスタンドへの固定は禁止。**

③ バックスタンドの第１コーナー中ほどから第４コーナー水濠まで設置可能。
最前列、手すり等は設置禁止。
強風時でも吹き飛ばされたり倒れたりしないよう、しっかりと固定すること。

④ 競技者名が表示された物の設置は可能。

⑤ 競技場での**応援の場所取り**については、
※メインスタンドは、例年通り、チームごとにエリアを主催者が指定し、大会ＨＰに掲載する。なお、実業団連合事務局のアンケートへの回答でメインスタンドの席割を返上したチーム分の一部は、一般観客用に開放する。

※大会当日の開場は、午前 11 時 00 分（予定）。

また、当日の開門後、ブルーシートを敷設するのは、強風時の万一の事故を防ぐため不可。同様に、強風で吹き飛ばされやすい物を置いての場所確保も控えること。ロープなどひも状のものをペグなどで固定した場合、ロープ、ペグ類は必ず回収すること。放置された機材類は当日中に廃棄する。

※毎年、沿道の市民、一般の駅伝ファンの方たちから、具体的な企業（チーム）名を挙げて、応援マナーに関する苦情や改善を求めるご意見が複数、寄せられている。

大会のイメージを損なうだけでなく、企業のブランドイメージにも傷をつけることのないよう、実業団チームをもつ企業として節度ある行動を心がけること。

７．表彰式に関して

表彰式は、聖和学園のホールにて実施するが、座席数に限りがあるため、観覧希望の場合は、人数をごく少数（２～３名程度）に絞り込むこと。他の観覧者の妨げとなることから、のぼりの館内持ち込みは禁止とする。

聖和学園キャンパスへの車の乗り入れ、並びに学校敷地周辺への路上駐停車、タクシーを待たせておくことは厳禁。学校周辺の道路は地域住民の生活道路であり、毎年、苦情が寄せられている。

【クマ関連は以下のサイトなどで確認を】

■宮城県 HP クマ情報
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/r8kumamokugeki.html

■仙台市 HP クマ情報
https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/yase/higai/tsukinowaguma.html

■仙台市 LINE 公式アカウントでクマの出没情報を確認できます。
https://www.city.sendai.jp/sesakukoho/line/jushinsettei.html

■環境省「クマに注意！」パンフレット
https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/kids/full.pdf
（上記資料Ｐ３に「もしクマに出会ったら！！」の対処法記載）